

Abstract

AROMA RESEARCH No.53 (vol.14/No.1)

商標権をめぐる国際的知財の動向

香坂 玲、西 悠

〈要旨〉

将来的には匂い、香りも商標の対象となる可能性が、商標等の法の改正に伴ない、高まっている。本稿では、米国、欧州における事例などを紹介し、匂い、香りが登録された事例や法的な議論と、今後の生物多様性、遺伝資源を含む国際的な動向について解説している。

〈キーワード〉

商標、香り・匂いの商標登録、知的財産、遺伝資源